

2024年度 サステナビリティレポート（社会・リスク）

株式会社PLASiST

目次

1. サプライチェーンマネジメント

購買基本方針

中長期目標

目標達成に向けた取り組み

2. 労働安全衛生

レスポンスブル・ケア基本方針

労働安全の取り組みの紹介

3. 地域社会との共生

具体的な取り組みの紹介

1. サプライチェーンマネジメント

◆ 購買基本方針

日本ピグメントグループが購入する原材料、包装資材、機械、設備などについて取引先に求める事項を下記として公正、透明な取引、また社会、環境へ配慮した調達を行い相互信頼関係を構築していくことを実践します。

1. 適正な品質継続供給及び競争力のある価格が可能なこと。
2. 適時、適量の供給対応が可能なこと。
3. 当社に貢献できる高い技術力を有すること。
4. 安定した経営基盤に貢献すること。
5. 国内外の法令や社会規範を遵守し並びにCSRを重視した経営を実践できること。

サプライヤー様から購入させていただく原材料や包装資材、機械、設備等は、当社の製品品質に大きく影響します。そのため当社グループでは高品質で安全な製品をお客様へ提供するために「購買方針」を遵守した購買活動に取り組んでいます。

サプライヤー様にはサステナブル調達ガイドブックに基づいた調査にご協力いただき、当社グループの基準を満たすサプライヤー様であることを確認の上、原材料や包装資材等を購入させていただいております。

◆ サステナブル調達ガイドブック

当社グループのサステナブル調達ガイドブックの目次は以下の通りです。

I. 法令遵守・倫理

- (I-1) 各種業法の遵守
- (I-2) 競争制限的行為の禁止
- (I-3) 優越的地位の濫用の禁止
- (I-4) 汚職・賄賂などの禁止
- (I-5) 不適切な利益供与および受領の禁止
- (I-6) 知的財産の尊重
- (I-7) 不正行為の予防・早期発見
- (I-8) 個人情報、顧客・第三者の機密情報の漏洩防止

II. 人権・労働

- (II-1) 人権の尊重
- (II-2) 差別の禁止
- (II-3) 労働時間
- (II-4) 従業員の団結権
- (II-5) 強制的な労働の禁止
- (II-6) 児童労働の禁止
- (II-7) 適切な賃金

III. 防災・安全衛生

- (III-1) 緊急時の対応
- (III-2) 機械装置の安全対策
- (III-3) 職場の安全
- (III-4) 職場の衛生
- (III-5) 従業員の健康管理

IV. 環境の保全

- (IV-1) 環境マネジメントシステム
- (IV-2) 製造工程で用いる化学物質の管理
- (IV-3) 環境許可証／行政認可
- (IV-4) 環境への影響の最小化
(排水・汚泥・排気など)
- (IV-5) 廃棄物削減
- (IV-6) 資源・エネルギーの有効活用(3R)

V. 品質・製品安全性

- (V-1) 品質マネジメントシステム
- (V-2) 製品に含有する化学物質の管理
- (V-3) 正確な製品・サービス情報の提供
- (V-4) 製造工程・設備変更の事前相談と規格・仕様の遵守

1. サプライチェーンマネジメント

◆ 中長期目標

サステナブル調達ガイドブック調査を実施、当社グループ基準を満たすサプライヤー様の比率を目標として以下のように設定しています。

- ✓ 2025年度末目標：ハイリスク原材料サプライヤー調査の取りまとめ
- ✓ 2030年度末目標：全サプライヤーの95%が当社グループ調達基準達成

◆ 目標達成に向けた取り組み

年次アンケート調査を実施し、サプライヤー様が当社グループ基準を達成するため改善の取り組みについてサポートをさせていただいております。

◆ レスポンシブル・ケア基本方針

当社は、「経営理念」ならびに「PLASiST企業行動指針」に則り、社会の信頼を得て、社会の持続可能な発展に貢献すると共に自らの持続的な成長を実現するため、安全、健康、環境、品質に関し、当社グループ会社と共に以下の事項を最優先事項として取り組んでいます。

1. 「安全をすべてに優先させる」ことを基本に、無事故・無災害の達成による安全・安定操業を継続する。
2. リスクに基づき、労働安全衛生、保安防災などの安全に関するパフォーマンス、及び、自社の設備・プロセス・技術に関わるセキュリティの継続的改善に努め、従業員や地域社会を含むステークホルダーの安全を確保する。
3. 開発・製造から廃棄に至る製品の全ライフサイクルにわたって、製品の安全性とプロダクト・スチュワードシップの継続的改善を促進し、人々の健康・安全の確保に努めるとともに、環境パフォーマンスの継続的改善を行い気候変動等の問題解決に取り組む。
4. お客様に満足して頂き、かつ安心して使用して頂ける品質の製品とサービスを提供する。
5. 国内外の法令・規準を遵守することはもとより、自主的な取り組みによりベストプラクティスの実践に努める。
6. 社会の関心と期待に応え、説明責任を果たすため、情報の公表と対話を行う。
7. 化学に裏打ちされた製品・製造技術により、持続可能な社会の実現に貢献する。

◆ 労働安全の取り組み例

① ヒヤリハット・危険予知訓練活動・体感訓練

様々な作業に潜む危険を予知する事を目的に大阪工場では社内で年1回、体感教育を全員対象で実施しています。
また、千葉工場では新たに入社した社員を対象として定期的に社外講習での体感訓練を行っています。



体感訓練の様子(大阪工場)

② 安全パトロールの実施

両工場それぞれ、工場全体を対象とした安全衛生の確立を目的とし、安全衛生委員会メンバー、管理職、産業医の安全パトロールを定期的に実施しています。
パトロールの結果については各工場内に展開し、リスクアセスメントが必要な課題については評価を実施し、優先的に改善を行っております。



安全パトロールの様子

③ 安全衛生委員会

安全管理体制（安全衛生・保安(防災も含む)）の維持と改善を促進する事を目的とし両工場では安全衛生委員会、安全衛生会議、安全衛生推進員会をそれぞれ月一回開催しております。



安全衛生委員会の様子

3. 地域社会との共生

◆ 地域社会との共生

日本ピグメントグループは、企業の成長と地域社会の発展が相互に影響し合うと考え、地域社会との関係を深めながら持続可能な社会の実現に向けて努めています。そのため、地域社会における福祉団体や自治体との連携を強化し、積極的な社会貢献活動を推進しています。

◆ 具体的な取り組み

- ✓ **近隣小学校への読売KODOMO新聞の定期購読支援**
大阪工場の南側に隣接する小学校に対し、子供の知的好奇心、良識などを育む教材として、小学3年～6年の4学年6クラスに向け、子供新聞の定期購読を支援しています。

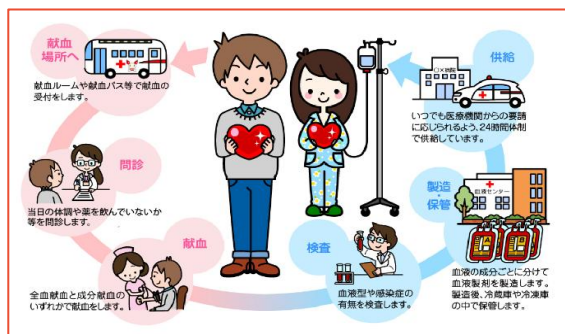


出典：読売KODOMO新聞
<https://kodomo.yomiuri.co.jp/>

◆ 具体的な取り組み

✓ 定期的な献血の実施

日本赤十字社に協力し、年2～3回の頻度で、従業員の献血をサポートしています。



出典:日本赤十字社

<https://www.jrc.or.jp/donation/first/flow/>

✓ 近隣小学校前の立哨協力

大阪工場ではトラックの誘導時や小学生の登下校時の安全確保のため立哨を行っています。



✓ 防災訓練

消防署を招へいし防災訓練を実施しています。



防災訓練におけるAED訓練の様子

✓ **地域貢献**

千葉工場では、袖ヶ浦市主催の「臨海地区清掃」に年4回参加しています。官民協力し、周辺美化とプラスチック等のごみの拡散防止に取り組んでいます。



